伊予銀行地域文化活動助成制度

助成応募要領

～地域の文化活動をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で
潤いと活力ある地域の明日を創ります

2020 年 6 月

伊予銀行

伊予銀行地域文化活動助成制度のご案内

◆ 趣　旨

本制度は、地域文化の発展と向上にお役に立ちたいとの願いから、愛媛県内で歴史的重要性や伝統性等に優れた「草の根的」な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

◆ 応募方法

後掲の「地域文化活動助成申請書」にご記入の上、最寄りの伊予銀行の窓口にお申込みいただきます。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

◆ 応募期間とスケジュール

年２回のサイクルで募集を行います。

【 募集期間　　１回目：１２月～１月下旬　　２回目：６月～７月下旬 】

※助成決定までの審査期間として、募集締切から３ヶ月程度のお時間をいただきます。

①申請書類提出	最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。
②書類審査	支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。この時点で要件に満たない場合は、お断りすることもあります。ご了承ください。
③面談・ヒアリング	活動内容に関して詳細をヒアリングさせていただきます。
④文化振興顧問団会議	県内有識者により、活動内容についての検討・審査を行います。
⑤助成決定	助成金額は、活動内容や実績、助成事例等により決定されます。
⑥選考通知	選考結果は、各推薦店を通じてお知らせします。
⑦助成金贈呈	贈呈式は、松山市内の会場で行います。
⑧活動報告書の提出	助成活動完了後、報告書をご提出いただきます。

◆ 「伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて

愛媛県内の有識者からなる「伊予銀行文化振興顧問団」を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

氏　　名	現　　職
三木　吉治　氏	愛媛大学名誉教授（元学長）
新居田　大作　氏	今治地方文化交流会 顧問
竹田　美喜　氏	松山市立子規記念博物館 総館長
森　　正康　　氏	愛媛県文化財保護審議会 会長（松山東雲短期大学名誉教授）
大本　敬久　氏	愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

◆ 助成要件

１．愛媛県内で活動する団体・グループで、原則として１０年以上の活動実績を持つこと。

（過去に助成を受けた団体も、その後 10 年以上経過した場合は、再申請が可能です。）

２．地域に密着した住民参加型「草の根」文化を伝承していること。

３．次の事項に該当しないこと。

（１）個人的趣味・稽古事の延長である。

（２）営利を目的としている。

（３）行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。

（４）特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。

（５）反社会的勢力との関連がある。

（６）ボランティア・福祉的色彩が強い。

※次頁の「申請要件チェックリスト」もご参照ください。

◆ 助成金使途

活動に関する道具類の購入や発行物の費用、催物等の実施経費の一部とします。

（通常の活動費用や飲食代等にはご利用いただけません。）

◆ 具体的活動事例

分　野	具体的活動事例
音　　楽	コーラス・声楽・器楽・邦楽 等
美　　術	絵画・写真・彫刻・陶芸 等
演　　劇	演劇・ミュージカル・人形劇 等
文　　芸	俳句・短歌・川柳・現代詩・文人顕彰 等
郷 土 芸 能	獅子舞・鹿踊り・牛鬼・伝承踊り・文楽 ・神楽 等
創 作 芸 能	創作太鼓・創作民謡・現代舞踊 等
郷　土　史	郷土史・民俗学・文化財の調査研究 等
国 際 交 流	国際交流活動 等
生 活 文 化	習俗伝承・創作事業・児童育成(読み聞かせ等)・演劇招聘・里山整備 等
自 然 科 学	動植物の調査保護研究 等

※ 上記は一例です。ご不明な場合は、事務局か、お近くの伊予銀行へご相談ください。
「草の根的」な文化活動に該当しない場合は、対象外となるケースもありますので、ご了承ください。

申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

1	団体あるいはグループとして複数人数で活動している。	YES・NO
2	１０年以上、地域に根ざした文化活動を継続的に運営し、活発に活動している。	YES・NO
3	過去１０年間、本制度による助成を受けたことがない。	YES・NO
4	趣味やお稽古事の延長ではなく、レクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。	YES・NO
5	ボランティアや福祉、地域おこしイベントに特化せず、文化的な性質を持った活動を行っている。	YES・NO
6	営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。	YES・NO
7	特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。	YES・NO
8	構成員を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。	YES・NO
9	地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。	YES・NO
10	連盟や協会等に属する場合、事務局的な活動ではなく、自主的･創造的に活動している。	YES・NO
11	年間の活動計画や収支が明確で、組織として構成されている。	YES・NO
12	活動を次代へ継承していくための方策（後継者対策等）を講じている。	YES・NO

※上記はあくまでも目安の一部です。 ご不明な場合は、事務局か、お近くの伊予銀行へご相談ください。なお、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

お申込みに必要な書類

１．地域文化活動助成 申請書　　全４枚

団体設立経緯や活動内容等、申請書に記載する内容を記した資料がある場合は、それらのコピーを添付することで、記載の一部を省略することができます。

申請書(Word 版・PDF 版)は、当行ホームページからダウンロードも可能です。

２．活動状況を撮影した写真　　５枚以上

可能であれば、電子記録媒体（CD･USB・SD カード等）でご提出ください。（後日返却いたします。）メールでの受付も可能です。

申請内容が道具類の新調・修繕の場合は、対象物の写真もあれば添付願います。

【地域文化活動助成制度 事務局】
〒790-8514　松山市南堀端町１番地　　伊予銀行　広報ＣＳＲ室
℡.（０８９）９４１－１１４１
E-Mail　　iyo011n669wt@iyobank.co.jp

<4-1>

地域文化活動助成申請書

年　　月　　日

株式会社　伊予銀行　殿

下記の活動・催物等を実施するにあたり、貴行の助成を申請します。

ふりがな
【団 体 名】

ふりがな
【代表者役職】　【代表者氏名】　印

【助成金使途】

【助成希望金額】　万 円

Ⅰ．団体の概要

1．連絡先（団体所在地 または 代表者連絡先）

住所　〒

（電話番号：　）（携帯番号：　）

（本申請ご担当者が、上記と異なる場合）

住所　〒

団体における役職名　ふり がな 氏 名

（電話番号：　）（携帯番号：　）

2．会員数　男 性　名 / 女 性　名 / 子 供　名 / 合 計　名

年齢構成　歳 ～ 歳（中心は　歳代 ）

3．団体設立 または 活動開始時期　M ・ T ・ S ・ H　年　月

4．利用 SNS（該当あれば○）　ホームページ　Facebook　Instagram　その他

5．設立の経緯・活動目的（なるべく詳しくご記入下さい。）

〔獅子舞等の伝統芸能分野の場合、発祥や起源などの由来・歴史的背景があればご記入下さい。
地域の言い伝え等でも結構です。市町村誌等の資料がある場合はコピーを添付して下さい。〕

Ⅱ．普段の活動状況について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

１．定例的な活動（催しやイベント出演等、定例的な活動）

２．過去の活動状況（上記以外で、過去に実施した特別な事業や活動があれば）

３．定期練習（会合）状況

① 期　間：　　月　　日　から　　月　　日　まで　　もしくは　　通　年

② 回　数：　月　・　週　　回

③ 場　所：

④ 指導者：　職業または勤務先　　氏 名

⑤ 練習・活動内容・参加率など

４．活動の中で特長的な事柄や特色、アピールしておきたい点、今後の目標 等

※伝統芸能・創作芸能分野で、演目がある場合は、その名称・内容など

※特長的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点、運営上の苦労、今後の目標など

５．後継者対策（会員獲得）のため実施していること

Ⅲ．助成を申請する活動・催物等について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

１．申請する活動・催物の名称

２．助成金使途（助成金の使い道を簡潔にご記入ください。詳細は次頁に記載願います。）

３．実施時期（予定でも可）

年　月　日（　）～　年　月　日（　）

４．実施場所（会場や神社など開催場所があればその名称）

５．本年度活動収支計画（本申請事業を含んだ年間の収支予想をご記入下さい）

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会員年会費(@　　円)			
合計（A）		合計（B）	

※収支計画をまとめた資料があれば添付して下さい。(上記記載は省略可)

不足額 ＝ （A）－（B）＝ △　　円

６．助成希望金額

万　円

7. 申請する活動・催物等について

※道具・衣装の新調（修繕）の場合は、対象物の現状や個数、新調（修繕）理由について。

※各種演奏会や芸能発表会等の場合は、テーマ(コンセプト)・ステージ構成・曲目内容について。

※各種記念誌発行の場合は、具体的な構成・内容・発行部数・配付予定先について。

以　上